

生活基盤施設耐震化等交付金 中間評価書

1. 交付対象事業の進捗状況

水道施設等耐震化事業		計画期間：H27～H31		事業期間					総事業費 (千円)	交付対象事業費 (千円)	交付額 (千円)	進捗状況	備考	
事業主体 (水道事業者)	事業箇所 (市町村)	事業内容		H27	H28	H29	H30	H31						
8 東大浦簡易水道	舞鶴市	計画	<簡易水道再編推進事業 東大浦簡易水道統合整備> 田井、成生、野原簡易水道を上水道に統合し、大山地区の未普及地域を解消する。 降雨時の水質悪化や渇水期の水源枯渇、設備の経年劣化などの課題を解消し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 配水池 2箇所、加圧ポンプ所 1箇所、減圧水槽 2箇所、送配水管布設 1,430m							228,000	220,000	88,000	完了	配水池の建設場所の変更による基礎構造等の見直しや、事業期間の延期、歩掛の改定に伴い、交付対象事業費が増額となった。
		実績	上記事業について、計画区間の配水池、ポンプ所、減圧水槽、送配水管布設を実施した。							276,258	255,800	102,320		
9 西簡易水道	舞鶴市	計画	<簡易水道再編推進事業 西地区簡易水道統合整備> 上根寺田、岸谷、吉田、青井、白杉簡易水道等を上水道に統合する。 降雨時の水質悪化や渇水期の水源枯渇、設備の経年劣化などの課題を解消し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 配水池 1箇所、加圧ポンプ所築造 1箇所、配水池機械電気設備 一式、ポンプ所機械電気設備 一式、送配水管布設 3,197m							349,400	330,000	132,000	完了	道路管理者との協議により路面復旧面積が増工したことや、事業期間の延期、歩掛の改定に伴い、交付対象事業費が増額となった。
		実績	上記事業について、計画区間の配水池、ポンプ所、送配水管布設を実施した。							427,616	401,865	160,746		
10 瀬崎簡易水道	舞鶴市	計画	<生活基盤近代化事業 瀬崎簡易水道増補改良> 降雨時において水質悪化（濁度、色度）が発生し、安定した給水の確保が困難になっている。 平成26年度に施工した膜ろ過設備本体の設置に引き続き、本体に付随する電気計装設備を設置し、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、生活改善を図る。 電気計装設備 1式							9,000	8,000	2,000	完了	
		実績	上記事業について、平成26年度の膜ろ過設備設置に伴う、電気計装設備工事を実施した。							8,162	7,312	1,828		
11 桑飼簡易水道	舞鶴市	計画	<生活基盤近代化事業 桑飼簡易水道水量拡張> 小原地区の未普及地域を解消するため、安心して安全な水道水の安定供給を確保し、定住環境向上を図る。 区域拡張に伴い増加する水量を確保するため、水源、配水池を増設する。 さく井 2井、配水池築造 1箇所、機械電気設備 一式							52,000	52,000	13,000	完了	
		実績	上記事業について、計画地区のさく井工、配水池築造を実施した。							38,576	38,376	9,594		
15 千歳簡易水道	亀岡市	計画	<簡易水道再編推進事業 千歳簡易水道統合整備> 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 千歳簡易水道事業では、上水道との施設統合に向けて、上水道の浄水場から浄水を送るための送水施設を整備する。加圧ポンプ 1ヶ所、送水管847m。							152,600	142,900	35,725	完了	
		実績	計画どおり送水管及び加圧ポンプを整備し、付帯施設を設置した。							170,291	153,140	38,285		
16 保津簡易水道	亀岡市	計画	<簡易水道再編推進事業 保津簡易水道統合整備> 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 保津簡易水道事業では、上水道との施設統合に向けて、上水道の浄水場から浄水を送るための送水施設を整備すると共に、老朽化した配水管を更新・耐震化する。送水管713m、配水管4,610m。							270,300	251,600	62,900	完了	
		実績	計画どおり送水管及び付帯施設を整備し、配水管を更新・耐震化した。							322,657	258,068	64,517		
17 犬甘野簡易水道	亀岡市	計画	<簡易水道再編推進事業 犬甘野簡易水道統合整備> 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 犬甘野簡易水道事業では、統合に向けた施設整備として、老朽化した導水管・送水管・配水管3,740mを更新し、付帯施設を整備する。							119,800	110,100	36,700	完了	
		実績	計画どおり導水管・送水管・配水管を更新し、付帯施設を整備した。							110,362	100,287	33,429		
18 柚原簡易水道	亀岡市	計画	<簡易水道再編推進事業 柚原簡易水道統合整備> 亀岡市内にある5つの簡易水道事業を上水道事業に統合し、事業基盤の強化を図る。 柚原簡易水道事業では、統合に向けた施設整備として、老朽化した取水・浄水・送水施設及び配水管2,895mを更新すると共に、遠隔監視装置を整備する。							192,610	177,210	59,070	完了	
		実績	計画どおり取水ポンプ・送水ポンプ・配水管等を更新し、遠隔監視装置を整備した。							179,742	158,637	52,879		
23 園部簡易水道	南丹市	計画	<簡易水道再編推進事業 園部簡易水道統合整備> 給水や経営の基盤が脆弱な一部の簡易水道地区全統合することで、当該地区における安定供給を図るものである。送水管布設（約6,000m）及び加圧ポンプ室（3基）築造をする。							723,350	398,146	159,258	完了	
		実績	上記事業計画通り、送水管布設及び加圧室築造し、安定した供給が可能となった。							728,473	374,648	149,859		
25 木津川市水道	木津川市	計画	<基幹水道構造物の耐震化事業（改築・更新）> 基幹水道構造物である山城高区配水池の耐震化を実施し、災害に強い施設を造る。							301,934	64,000	21,332	完了	
		実績	上記事業において、配水池の耐震化を実施した。							439,548	63,997	21,318		
28 丹波・瑞穂簡易水道	京丹波町	計画	<簡易水道再編推進事業（丹波・瑞穂）> 水道施設の耐震化を行うことにより、災害発生時にも安定した水道水の供給を行うため、高度浄水処理施設、加圧ポンプ場、配水管の整備を行う。							403,901	176,954	58,984	完了	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の布設及び施設の整備を実施した。							376,108	151,761	50,587		
29 和知簡易水道	京丹波町	計画	<簡易水道再編推進事業（和知）> 水道施設の耐震化を行うことにより、災害発生時にも安定した水道水の供給を行うため、配水管の整備を行う。							210,200	195,571	78,228	完了	
		実績	上記事業について、計画区間の配水管の布設及び施設の整備を実施した。							216,450	158,351	63,340		

2. 事業効果の発現状況、評価指標の発現状況

I 事業効果の発現状況	【舞鶴市】計画に沿ってポンプ所や配水池、送配水管の布設など必要な水道施設を整備し、簡易水道の上水道への統合、水道未普及地域の解消を実施した。また、膜ろ過設備設置に伴う電気計装設備工や、さく井工、配水池築造等を実施し、水道水の安定供給が確保でき、生活改善が図れた。この結果、計画より1年延期となったが、簡易水道事業の上水道への統合および水道未普及地区数の目標値を達成した。				
	【亀岡市】全ての簡易水道事業において、上水道事業との統合に向けた施設整備が完了した。				
	【南丹市】計画に沿って、天引、大河内、法京の3事業を上水道事業に統合した。水源取水不足にある3地域に、船阪浄水場の浄水を給水することで、安定給水が出来た。				
	【木津川市】計画に沿って、老朽化による劣化が著しかった山城高区配水池を新たにステンレス製にて築造し、山城地区における配水池耐震化率が73%となった。				
	【京丹波町】計画に沿って約4kmの耐震管布設を実施し、耐震適合率の目標値を達成。				
II 評価指標の達成状況	指標	目標及び実績		達成評価(又は目標値と実績値に差が生じた原因)	
	舞鶴市-1 舞鶴市域における簡易水道事業数	当初現況値	19地区	(H27年度)	管路埋設工事にあたり、道路改良事業者との工程調整に想定外の期間を要したため、1年延長となったが、予定の値を達成した。 ※【H27年度当初】未普及地区数：5地区 【H29年度末】未普及地区数：4地区。
		目標値	0地区	(H28年度)	
		実績値	0地区	(H29年度)	
	舞鶴市-2 舞鶴市域における未普及地区数	当初現況値	5地区	(H27年度)	用地取得にあたり地権者との用地境界協議に想定外の期間を要したため、1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	4地区	(H28年度)	
		実績値	4地区	(H29年度)	
	亀岡市-1 亀岡市内に存在する水道事業等の数	当初現況値	7	(H27年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。(上水道事業・小泉飲料水供給施設)
		目標値	2	(H28年度)	
		実績値	2	(H29年度)	
	南丹市-1 南丹市域における簡易水道事業数	当初現況値	2	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	0	(H28年度)	
		実績値	0	(H29年度)	
	南丹市-2 南丹市域における飲料水供給施設数	当初現況値	1	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。
		目標値	0	(H28年度)	
実績値		0	(H29年度)		
木津川市-1 木津川市水道事業における配水池耐震化率 (耐震化対策のされている配水池容量/配水池総容量)	当初現況値	0%	(H27年度)	予定の値を達成 山城地区の総配水池容量(高区+低区+神童子)2,320m <sup>3</sup> のうち、今回更新した配水池容量が1,700m <sup>3</sup> である。	
	目標値	73%	(H30年度)		
	実績値	73%	(H29年度)		
京丹波町-1 京丹波町簡易水道事業における管路の耐震適合率 (耐震管延長/管路総延長)	当初現況値	8.3%	(H28年度)	1年延長となったが、予定の値を達成した。 【平成28年度当初】管路総延長 497,323m、うち耐震適合管 41,693m 【平成29年度末】 管路総延長 474,249m、うち耐震適合管 45,823m	
	目標値	9.0%	(H28年度)		
	実績値	9.6%	(H29年度)		
III 評価指標以外の事業効果の発現状況 (必要に応じて記載)	【舞鶴市】事業実施地区では、これまで降雨時の高濁度や濁水期の水源枯渇、施設の老朽化などの課題があったが、必要な水道設備を整備したことにより、安心して安全な水道水の安定供給が確保でき、定住環境の向上を図ることができた。				
	【亀岡市】老朽化した管路が耐震管に更新されると共に、施設の運転状況を常時監視できるようになり、安全性が向上した。 3つの簡易水道(川東・千歳・保津)が上水道と施設統合したため、施設の維持管理費の削減と上水道の既存施設の利用率向上につながった。				
	【木津川市】今回、配水池は2池式で1池のみに緊急遮断弁が設置されており、地震等の災害時には、緊急遮断弁により1池分の水量(850m <sup>3</sup> )が確保され、場内の消火栓を用い応急給水可能な体制を確保している。また、もう1池分は災害時に火災等の発生も想定されるため、山城町域の消火栓が使用できるよう、遮断弁を設けず通常通り配水する体制を確保している。				
	【京丹波町】浄水場系統をつなぐ連絡管の整備により災害時において応援給水可能なエリアが確保できた。				

3. 今後の方針等

【舞鶴市】 今後は配水本管等の老朽管の布設替えを重点的に実施することで耐震化等を進め、安心して安全な水道水の安定供給の確保につなげる。
【亀岡市】 今回の統合により、飲料水供給施設を除く市内の水道事業が一本化され、将来に向けた経営基盤が整った。これを機に、計画的な資産管理及び官民連携も含めた業務の効率化に取り組み、人口減少と水需要の減少にも耐える経営を実現する。
【南丹市】 導水管や配水管管路及び施設の耐震化を進める。
【木津川市】 今回築造した配水池は、山城地区全体を賅える容量であるため、将来的には現在の3配水池(高区・低区・神童子)を今回築造した配水池のみとし、配水池耐震化率100%となる計画である。
【京丹波町】 引き続き町内の耐震適合率の向上を目的に拠点病院・避難施設等(重要給水施設)への配水管の耐震化とともに、町としての重要管路の耐震化を進めていき、配水管の耐震化率を平成36年度末に15.8%とする。